

稗田山崩れ110周年伝承行事を開催しました

国土交通省北陸地方整備局
松本砂防事務所

日時：令和3年10月6日(水) 10:30~14:30

場所：長野県北安曇郡小谷村 松ヶ峰無線中継所およびサンティンおたり

出席者：下条 みつ 衆議院議員、務台 俊介 衆議院議員、牛越 徹 大町市長、中村 義明 小谷村長、今井 一之 前国交省砂防部長、小林 康男 小谷村姫川流域直轄砂防事業等促進期成同盟会会長、村議会議員、行政関係者、地元関係者等約40名

概要：稗田山が崩壊し下流域に大惨事を引き起こした土砂災害から110年という節目を迎え、これを機に改めて大規模土砂災害の恐ろしさを伝承し その備えを進めるとともに 地域資源としての活用に向けて理解を深めることを目的に稗田山崩れ110周年伝承行事を開催いたしました。

【稗田山崩れ案内板除幕式】



関係者一同の集合写真



晴天時の現地の様子

■中村 小谷村長 式辞

小谷村では大災害を教訓として厳しい自然環境の中で力強く生き抜いていくすべを身につけ、後世まで決して忘れることなく語り継いでいるものである。現在も継続して進められている土石流対策に対し、国の力強い事業発展に心から感謝するとともに、この流域が未永く安全であることはもとより、全国の砂防事業が国土国民の安全安心の礎として未来を切り開いて頂くことを切に願っている。



■牛越 大町市長 挨拶

稗田山崩れで発生した土石流は多くの人命や財産を一瞬でうばい下流域においても甚大な被害を及ぼした。こうした経験を踏まえ、平成7年の災害では姫川流域において多くの土砂災害が発生したが人命は一人も失われなかったのは、ハード事業のたまものであり長年の被災経験を生かした住民の主体的な行動の成果であったことだと思われる。



【地域を守り活かす「砂防」について聴く会】

講演タイトル

「地域が主役の砂防
～地域を元気にしていく砂防の取り組み～」



今井 前砂防部長

「災害現場に実際に行くことで、恐ろしさと備えの重要性が分かる」と指摘されながら、砂防施設や周囲の景観を生かして観光誘客に成果を上げている全国の先進事例を紹介いただくとともに、「平時から地域の方の努力とアイデアで砂防施設を有効活用していただきたい」とのお話をいただきました。



講演の様子